

入浴補助用具

シャワーエイド

取扱説明書

シャワーエイドを快適にお使いいただくための大切な内容が記載されています。お使いになる前によくお読みいただき、また必要なときにはいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

シャワーエイドの特長

- 背・座連動型リクライニング
- 背・座スリング張り調節
- 背高さ・座面奥行調節
- サビに強いステンレス・アルミフレーム
- 乾きやすく衛生的なシート素材
- 折たたみ式
- トータルロックキャスター付



※製品改良のため、外観、仕様は予告なく変更することがあります。

目次

- 安全にお使いいただくために……P1・2
- 各部の名称……P3
- 製品構成……P3
- オプション……P3
- 使用前点検……P3
- 使用後のお手入れ……P3
- 各部の取り扱い……P4
- 折たたみ方・開き方……P5・6
- 体幹サポートパッド……P7
- のせ方、おろし方の注意……P8
- お手入れ・メンテナンス……P9
- 仕様……P9
- シャワーエイドQ&A……P10

- 入浴時は、水気や洗剤(せっけん)などで浴室の床、本人の身体、並びに介助者の手もすべりやすくなります。

身体を洗うときは本体から転落しないように十分注意してください。また、必要に応じて、オプションのベルト類をご利用してください。

また、乗せ降ろしの際は本人を落としてしまったり、本人を抱えたまま転倒しないように十分に注意して移乗をおこなってください。

- ⊘ この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

- ❗ この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

● 警告 (使い方を誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定される事項です。)

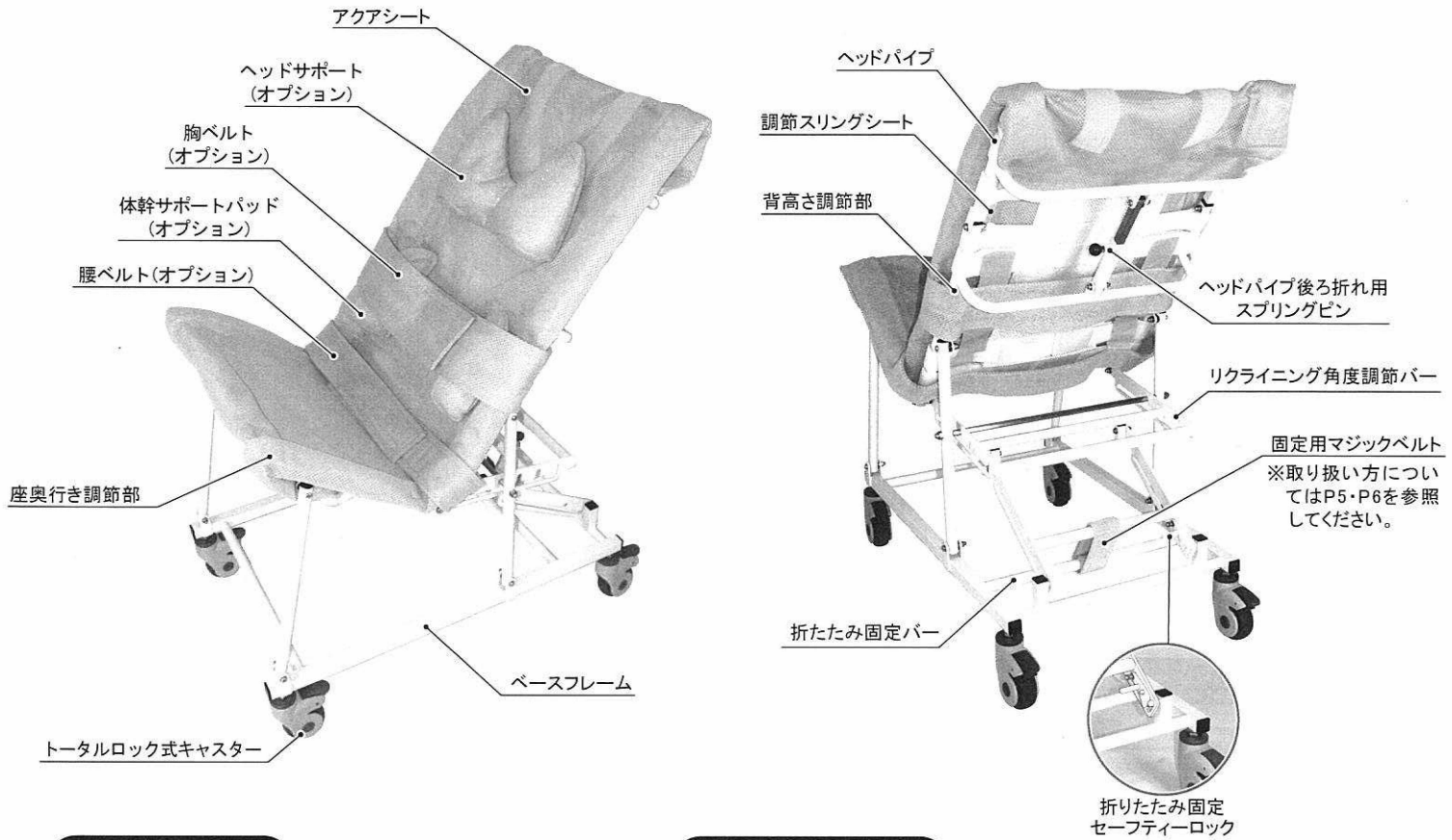
- ❗ のせ降ろしの際には必ずブレーキをかけてください。
- ⊘ 不安定な場所での使用はしないでください。
- ⊘ 折たたみおよび開き操作の途中の段階での使用はしないでください。
- ⊘ 本人を座らせたままで、抱えて移動しないでください。
- ⊘ 座席から身体を乗り出させないでください。
- ⊘ 一方にかたよったバランスの悪い位置にのせないでください。
- ⊘ 座席から背もたれ、フットレスト等に立たせないでください。
- ❗ 使用するときには必ず本人から目を離さないでください。
- ⊘ 踏み台など他の用途での使用はしないでください。
- ⊘ ストーブなど火気の近くでは使用しないでください。シートが燃えたりフレーム本体が熱くなり、火傷するおそれがあります。
- ⊘ フレームの折れ・曲がり、ベルト類のやぶれやマジックテープの劣化、各部が破損した状態での使用はしないでください。
- ⊘ 子供に操作させないでください。
- ❗ 屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、すぐに降りて安全な場所に移動してください。
- ⊘ 改造や分解はしないでください。

● **注意** (使い方を誤ると、人が傷害を負う可能性、または物理的障害が
発生する可能性が想定される事項です。)

- ❗ のせ降ろしの際は、十分に注意して身体をかかえ、ゆっくりおこなってください、いきおいよくのせると、シャワーエイド本体ごと転倒するおそれがあり危険です。
- ❗ 折りたたみおよび開き操作、またリクライニング操作のときは各部が連動して動きます。指などを挟まないよう注意して操作をおこなってください。
- ❗ 本人が座った状態でのティルト操作は、体重がかかり急に倒れる(ティルトする)ことがありますので十分に注意してください。
- ❗ 周辺に小さなお子様がいるときは、十分に注意してください。
- ⊘ 座席から身体を乗り出したような姿勢では使用しないでください。
- ⊘ 二人乗りなど多人数での使用はしないでください。
- ⊘ 子供を背もたれなどにぶらさがらせないでください。背もたれなどに子供がぶらさがったりすると、後方に転倒する可能性があり大変危険です。そのような使い方はおこなわないでください。
- ⊘ 子供の遊び道具として使用しないでください。
- ⊘ 保護者・介助者等が寄り掛かったり、腰掛けたりしないでください。
- ⊘ 調節スリングシートが不適切な状態での使用はしないでください。
- ⊘ シートを外した状態での使用はしないでください。
- ❗ 本人が座った状態でのリクライニング操作は、体重がかかり急に倒れることがありますので十分に注意してください。
- ❗ 折たたみ、および開き操作時には床などを傷つけるおそれがありますので、注意して取り扱ってください。
- ❗ 保管するときは、湿度の高いところ、雨が降りかかるところを避けて、風通しのよい屋根のあるところで保管してください。

使用を取りやめるときには(不要になったときには)取り扱い業者にご相談ください。

各部の名称



製品構成

	数量	
●基本フレーム	1	
●調節スリングシート(背・座)	1	
背・延長用スリングベルト(背)	1	
●シートユニット	アクアシート	1

オプション

- 体幹サポートパッド
- ヘッドサポート
- 胸ベルト
- 腰ベルト

使用前点検

- キャスターのロックが正常に効くことを確認してください。
- 折たたみ固定バーやヘッドパイプのスプリングピンが確実にロックされていることを確認してください。
- ティルトや座面の角度調整の動きがスムーズにおこなえることを確認してください。
- ネジのゆるみやガタがないことを確認してください。
- アクアシート・ヘッドサポート・胸ベルト・腰ベルト・調節スリングシートがそれぞれ適切にセットされていることを確認してください。
- 特に皮膚が柔らかく弱い方の場合、使用後にアクアシートの跡がしばらく残るおそれがあります。シートの上にバスタオルを敷くなどして、あたり加減を和らげるように注意してお使いください。

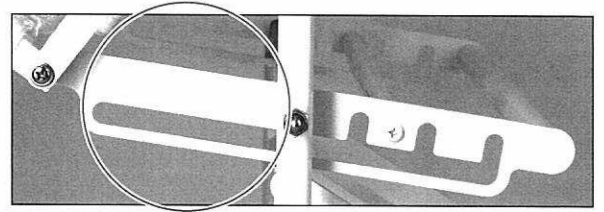
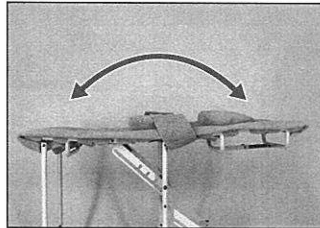
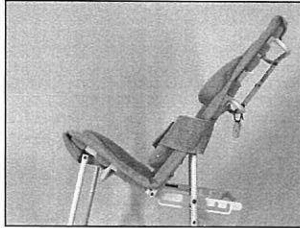
使用後のお手入れ

- シャンプーやせっけんの泡などが付着したまま放置すると、汚れが落ちにくくなったりカビの原因となります。使用後は水洗いし、水気を拭き取って風通しのよい場所で乾燥させるようにしてください。

各部の取り扱い

●リクライニング

座位姿勢からフラットに寝た姿勢まで4段階に調整できます。リクライニング角度調節バーの刻みの設定により、角度が変わります。



一番前の刻みから先の溝は、折たたみ時に使用する部分です。ロックがかかりませんので使用中は設定しないでください。



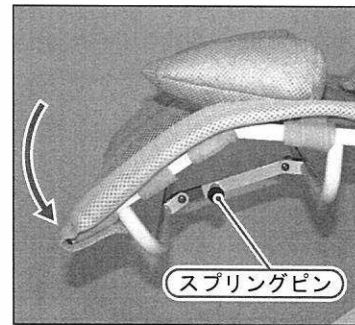
- ・リクライニング角度を変えるときは必ず両手で操作をおこなってください。乗っている方の重さで急にリクライニングすることがあり大変危険です。
- ・操作時には各部が連動して動きます。手ばさみに注意してください。
- ・フラットにして使用するときは、本人が落下したり後方転倒しないよう、全体のバランスに注意してください。

●キャスター



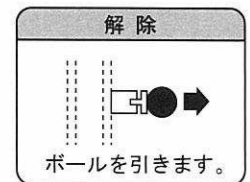
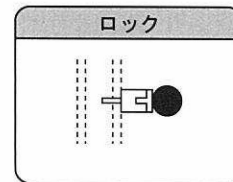
キャスターは四輪すべてトータルロック式です。キャスターについているプレートを下に下げるとブレーキと首ふりの固定が同時にかかります。プレートを上にあげると解除されます。

●ヘッドパイプ後ろ折れ



洗髪をおこなうときにヘッドパイプ部分を後方に倒すことができます。ヘッドパイプ後ろ折れ用のスプリングピンを解除してヘッドパイプを後方に倒してください。元に戻すときはヘッドパイプを起こしてください。自動的にロックがかかります。

※ヘッドサポートを取り外すと、さらに頭を傾けやすくなります。



●背もたれ高さ調節



- ・使用される方の身長、成長に応じて背もたれの高さが調節できます。(ボルト・ナットによる)差替え式です。
- ・背もたれを伸ばしたときは、付属の延長用スリングを背フレーム上端に巻いて、背シートを被せ直してください。

●座奥行き設定



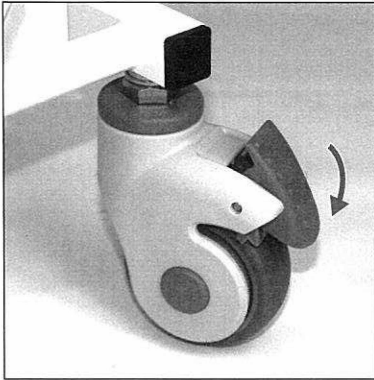
ボルトを差し替えることで、大腿長の寸法に合わせて調節ができます。



- ・折りたたみおよび開き操作のときは各部が運動して動きます。指などははさまないように注意して操作をおこなってください。
- ・周辺に小さなお子様がいるときは、特に注意してください。
- ・傾斜や段差がある不安定な場所では作業をおこなわないでください。
- ・折りたたみおよび開き操作時は床面等を傷つけることがありますので十分注意して取り扱ってください。

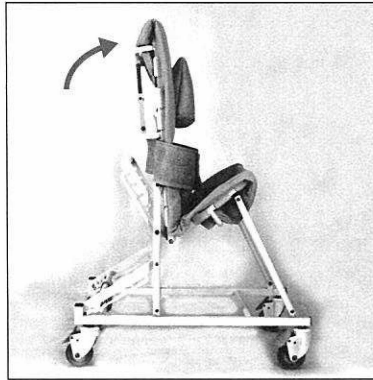
折たたみ方

1

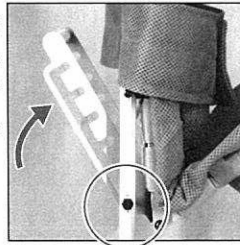


ブレーキをかけてください。

2

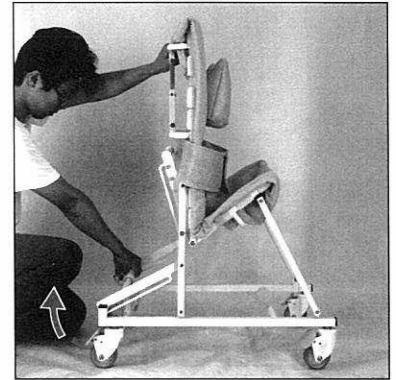


リクライニング角度調整用プレートを解除して(一番前の溝までずばらせて)背もたれを起こしてください。

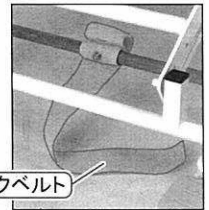


ロックがかかっていない状態になるため背もたれが急に倒れてくるおそれがあります。背もたれを支えながら操作してください。

3



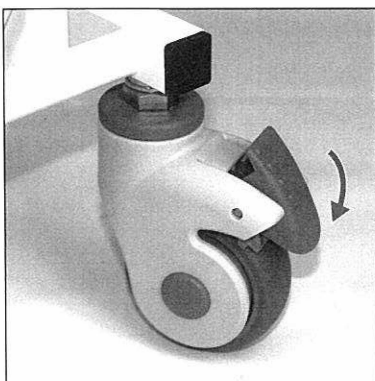
背もたれを支えたまま、まず折りたたみ固定バーのマジックベルトを外してください。次にセーフティーロックを解除して折りたたみ固定バーを持ち上げてください。背座フレームがななめ後方に折りたたみはじめます。



マジックベルト

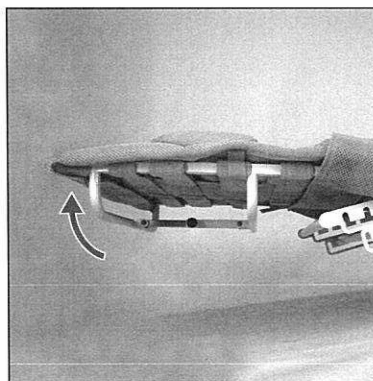
開き方

1



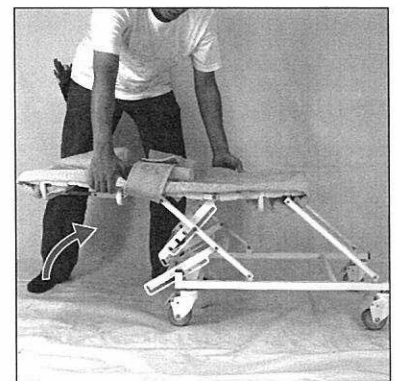
ブレーキをかけてください。

2



ヘッドパイプ後ろ折れのパイプを抜いている場合は、差し込んでスプリングピンのロックをかけてください。

3

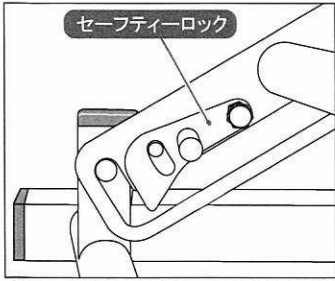


フレームを左右からつかんで斜め前方へ持ち上げてください。

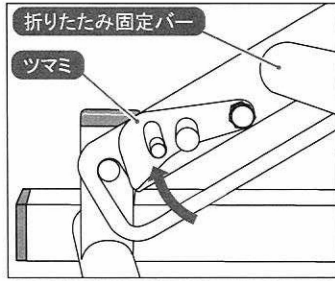


各部が運動して動きます。手ばさみに注意してください。

●セーフティーロックの取り扱い

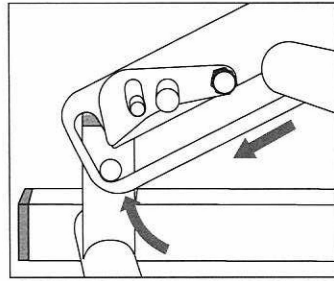


ロックがかかった状態



ロック解除

セーフティーロックはツマミを上にもちあげると解除します。



折りたたみ固定バーの解除

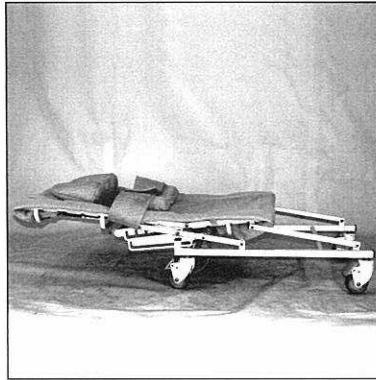
セーフティーロックを解除したまま、折りたたみ固定バーを上にはげると後方にスライドして折りたためます。

4



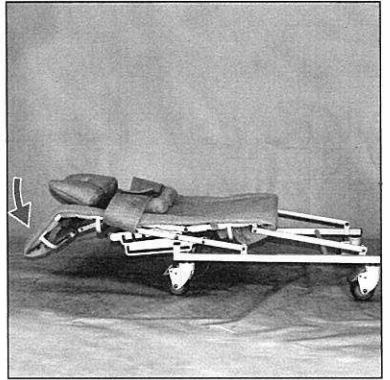
そのまま背座フレームを、ゆっくり倒してください。

4



本体の折たたみ完了です。

5



ヘッドパイプ後ろ折れのスプリングピンを解除してヘッドパイプを後ろ折れすると全長が少し短くなります。

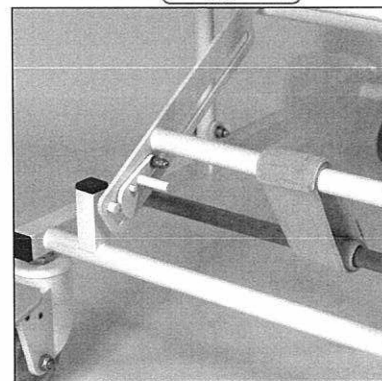
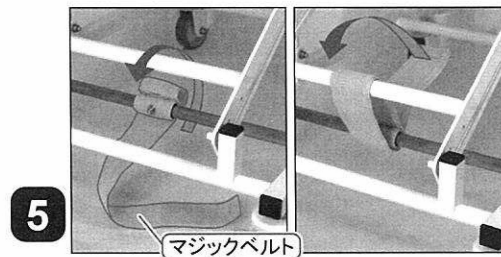
各部が連動して動きます。手ばさみに注意してください。

4



持ちあげていくと折たたみ固定バーが落ち込んでロックされます。セーフティーロックは自動的にがかかりますが、ロックがかかっていることを確かめてください。

5



ロックされた折りたたみ固定バーを、本体にネジ止めされているマジックベルトで前方から巻くようにして、しっかり貼り付けてください。

! 折たたみ固定バーは必ずマジックベルトでとめてください。

6



確実にロックされていることを確認したら、任意の角度に設定してご使用ください。

体幹サポートパッドの取り扱い要領

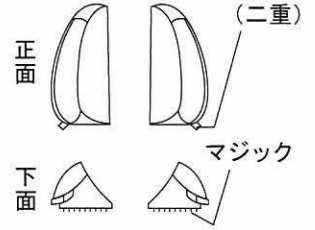
調節スリングシートの張り具合で、骨盤が前方に滑り出しにくくなるように、また体幹部を背もたれにゆっくり預けていられるように矢状面のサポートを調節します。

調節スリングシートの水平面でのカーブの形状により、側方からのサポートがある程度得られますが、側方からのサポートを追加する目的で体幹サポートパッドを用います。

体幹サポートパッドは、右記のように2個セットになっています。調節スリングシートにアクアシートを取り付けて、その上から体幹サポートパッドを取り付けて使用します。

体幹サポートパッド (オプション) ファスナー (二重)

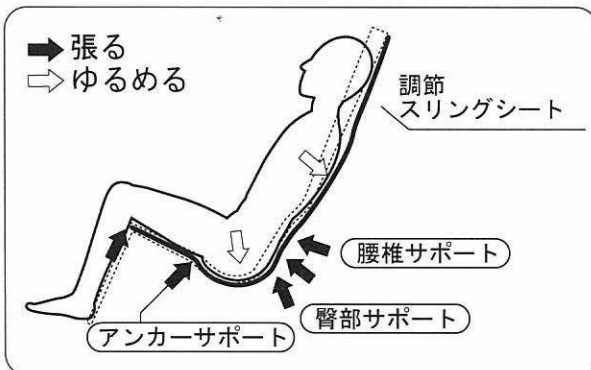
- ◆ 左、右別 (各1個)
- ◆ ファスナーがついている方が外側、先端が細い方が上側です。
- ◆ マジック面がスリングシート側



※体幹サポートパッドのストローペレットについて

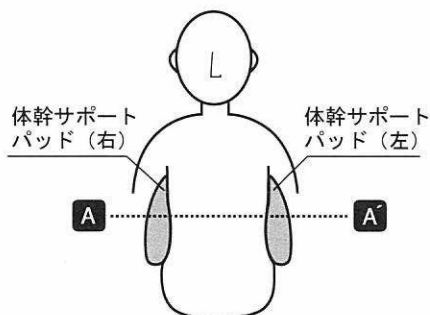
体幹サポートパッドのサポート力は、中のストローペレットの増減で調節できます。ストローペレットは簡単に取り出せないように二重のファスナーで閉じてあります。ストローペレットの出し入れのときには、小さなお子様が進み込んだりしないように十分に注意して取り扱ってください。

① 調節スリングシートの張り調節を先におこないます。

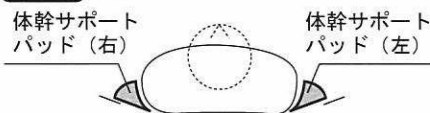


- 調節スリングシートの張り調節をおこない、適切な骨盤部～腰背部～胸部部の矢状面カーブを形成するようにします。
- 調節スリングシートの張り具合(水平面でのカーブの具合)により、体幹サポートパッドの左右の位置関係(きつき、緩さ加減)が変化しますので、必ず先に調節スリングシートの張り調節をしておきます。
- 本人の状態に問題がなければ安全のためシートにゆったりと体をあずけられるように張り調節をおこなってください。

② 体幹サポートパッドを本人の状況・体型に合わせて、またサポートの方向に配慮してアクアシートに取り付けます。



A-A (水平方向)



〔体幹サポートパッド〕

- 肋骨下部から胸部の重みを受け止めるように体幹部の側方をサポートし、体幹部の横倒れや水平面方向の転がりを防ぐよう、アクアシートと胸部とのくさび状の隙間を埋めるように取り付けます。
- 側弯などの影響で姿勢の崩れに左右差がある場合には、取り付け位置・高さが左右非対称になる場合もあります。

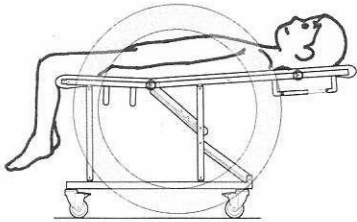
③ 必要に応じて体幹サポートパッドの形状を変更調整します。

- パッドはファスナー二重式になっています。必要に応じ中のストローペレットの量を増減するなどして形状調整をしてください。

のせ方、おろし方の注意

- ◆ 以下の点に注意して、のせおろしをおこなってください。また、入浴時には、身体の位置が常に安定した位置にあるよう確認をしながら頭や体を洗ってください。

正しいのせ方



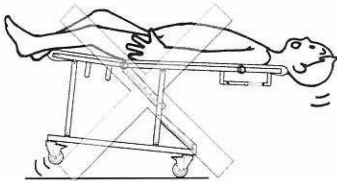
- リクライニングしたとき、シャワーエイド本体から頭がとび出さないようにのせてください。
- ひざうらが座面の先端にくる位置を目安にして、そっとのせてください。



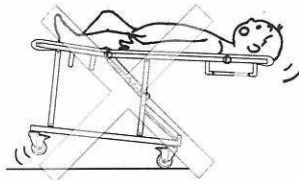
- ・いきおいよくのせると、シャワーエイド本体ごとひっくり返るおそれがあり危険です。
- ・のせおろしの際は、手足や頭、身体をぶつけないよう、シャワーエイド本体はもちろん、浴槽や戸口の角など周囲の環境にも十分に注意してください。

× 誤ったのせ方

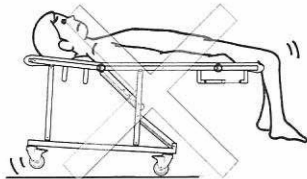
- ◆ 誤ったのせ方(バランスの悪い状態)で使用すると、シャワーエイドから身体が転落してしまう、もしくは本体ごと転倒してしまうおそれがあり大変危険です。



× シャワーエイド本体から頭がとび出した位置にのせている。



× 身体の位置がシャワーエイドのヘッドパイプ側(頭側)にかたよっている。



× 上下、逆にしてのせている。




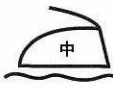

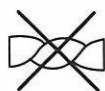


- ・ヘッドパイプ寄りのかたよったところに身体をのせると(身体の重心が不安定な位置になるため)、シャワーエイド本体のバランスがくずれ、後方転倒するおそれがあり大変危険です。
- ・おろすときは、全体のバランスに注意しながら身体をかかえてください。

お手入れ・メンテナンス

- ◆ 可動部分の動きが悪くなったときは、その部分の汚れをきれいに取り除いてください。
- ◆ フレームが汚れた場合は薄めた中性洗剤をしみ込ませたやわらかい布で拭き取ったあと洗剤分を取り除いてください。
- ◆ 下記の薬品や用具などはシート部分、フレームを変色させたりキズをつけ、また金属部分のサビ、腐食の原因となりますのでお使いにならないでください。

●シンナー、ラッカー	●アルコール	●サンドペーパー
●ガソリン	●漂白剤、酸性洗剤	●亀の子たわし
●クレンザー	●金属たわし	
●磨き粉	●ナイロンたわし	

- ◆ アクアシートのお洗濯の際は下記のことにご注意ください。

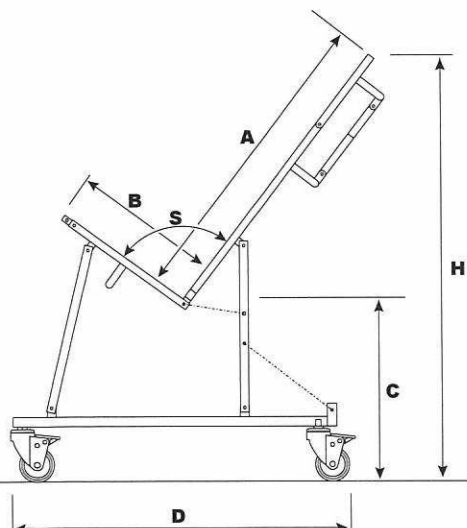
	液温は、30℃を限度とし、洗濯機の弱水流または弱い手洗いがよい		アイロンは160℃を限度とし、中程度の温度(140℃から160℃まで)で掛けるのがよい		ドライクリーニングができる。洗剤は、石油系のものを使用する。
	絞ってはいけない		日陰のつり干しがよい		塩素系漂白剤による漂白はできない

- ◆ ヘッドサポート、体幹パッドの中にはクッション材としてストローペレットが入っています。お手入れの際には下記のことにご注意ください。

- | | |
|-------------|--------------|
| ●素材=ポリプロピレン | ●アイロン、プレス不可 |
| ●高温、ドライ不可 | ●洗濯可(自然乾燥のみ) |

- ◆ 調整や修理については、まず取り扱い業者にご相談ください。

仕様



	単位	Sサイズ	Mサイズ	Lサイズ
背高さ(A)	mm	590~650	680~740	790~850
背幅	mm	400	430	460
座奥行き(B)	mm	270~310	320~360	360~400
座面高さ(背起し時)(C)	mm	410	410	400
基本重量	kg	約8	約9	約10
リクライニング角度	度	約50°~約5°		
背座面角度範囲(S)	度	90°~175°		
全体寸法(W×D×H)	mm	440×710×880	470×760×940	500×910×1020
折たたみ寸法(W×D×H)	mm	440×1050×270	470×1200×280	500×1350×270
フレーム		ステンレス材		
調節スリングシート		マジックシート・テープ=ポリエステル		
アクアシート		メッシュ生地=ポリエステル100%		
対象年齢(身長)	cm	約105~115	約130~140	約145~155

※折りたたみ寸法(W×D×H)

※基本重量=基本のシートユニットを取り付けた場合の重量

Q シート類は衣類乾燥機にかけてもいいですか？

A 衣類乾燥機を使用すると生地が縮みますので、使用しないでください。

Q カビが生えてくることはありませんか？

A アクアシートには、カビの出にくいポリエステルを使用しています。しかし、使用後に乾かさず浴室に放置したままで換気を怠りますと、カビが発生しやすくなります。『使用後のお手入れ』の項目をよくお読みください。

Q 体を洗う時はどうすればいいのですか？

A 体を洗う時は、洗剤などですべりやすくなるので、十分に注意してください。オプションの体幹サポートパッドを装着している場合は、体の側面を洗うときにパッドを一旦取り外すと洗いやすくなります。また、本製品のアクアシートは入浴用として機能性や感触を考慮した素材ではありますが、背中や膝の裏など特に皮膚が柔らかく弱い方は、使用後にアクアシートの跡がしばらく残るおそれがあります。そのような様子が見られる場合は、アクアシートの上にバスタオルを敷くなどしてシートのあたり加減を和らげるようにしてください。

Q 半身浴などさせたいのですが、浴槽に浸して使用してもいいですか？

A 製品は、基本的に耐水使用ですので問題ありません。しかし角ばった部品もありますので浴槽を傷つけないよう充分注意して取り扱ってください。入浴中は、介助者の監視による安全を確保してください。

Q シャワーエイド上でドライヤーを使ってもいいですか？

A アクアシート、体幹サポートパッド、ヘッドサポートは高熱に弱い素材でできています。ドライヤーを使用する際は、シートやパッドをいためないよう十分に注意してください。

Q 浴室以外の部屋で使いたいのですが？

A 入浴後の使用は、水気を充分拭きとってビニールシートなど敷いて使用してください。フレームの中に残った水分がしたたり、床を汚すおそれがあります。ファンヒーターやストーブなど、火気のそばでは使用しないでください。本体が熱くなり火傷をするおそれがあります。

Q リフト(吊り上げ式)を使用したいのですが、大丈夫ですか？

A 本人を乗せたままアクアピットを吊るすのは、大変危険ですのでおやめください。本体から本人だけを吊るすのはかまいません。

Q ピクニックなど外に持ち出したいのですが、大丈夫でしょうか？

A 砂をかみこむと操作に支障が出ますので、レジャーシートなどを敷いて、注意して使用してください。

取り扱い業者・連絡先

2017. 5. 16